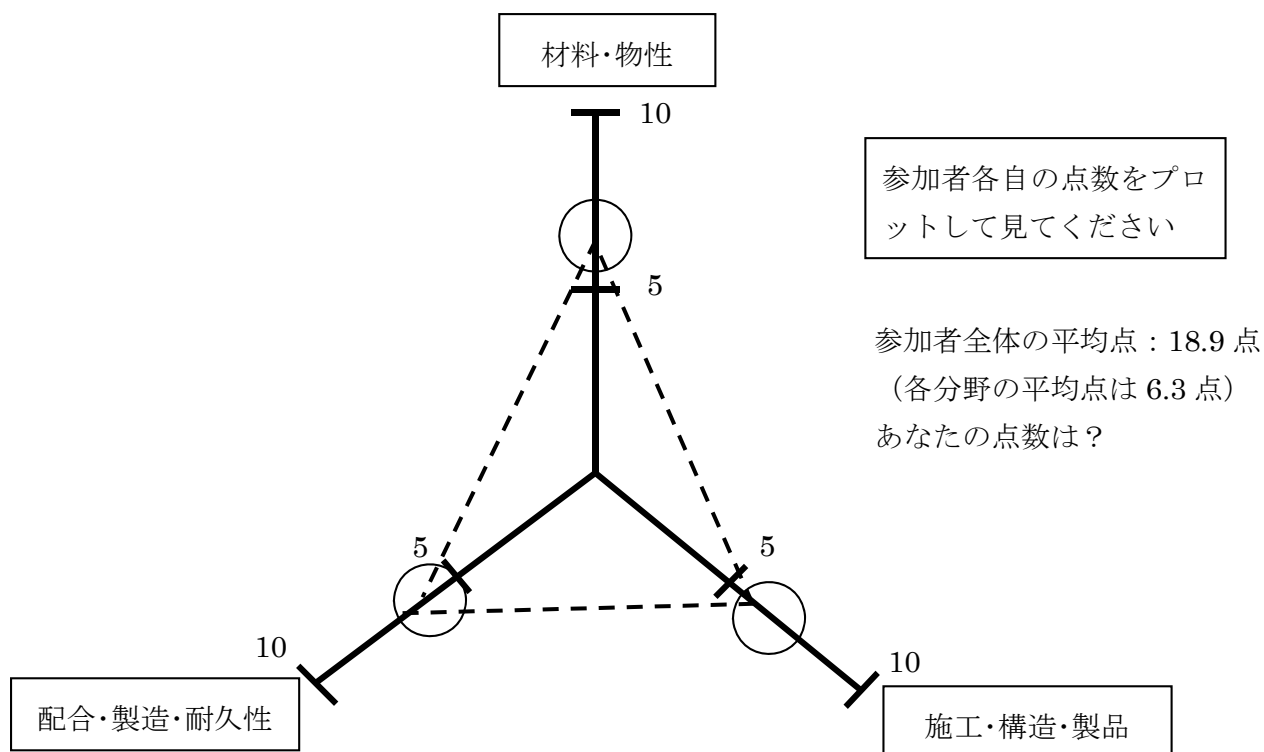


2015 年度コンクリート技士研修 専門知識自己診断テストの結果について

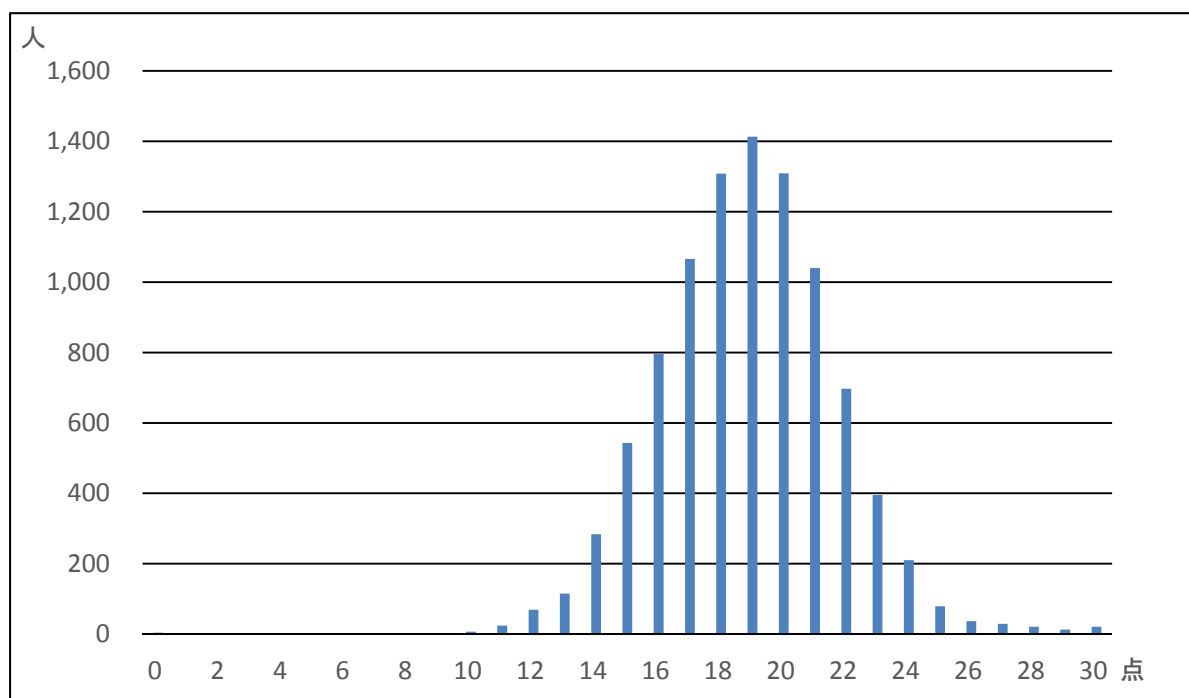
2015 年度のコンクリート技士研修では、参加者全員に、「専門知識自己診断テスト」に挑戦して頂きました。

本テストは、名称からも推察できるように、コンクリートに関する各自の専門知識レベルが現在どの程度にあるのか(技士資格取得当時のレベルを維持しているか、あるいは向上しているか、逆に低下しているか)を把握して頂くことを目的としています。その背景には、コンクリート分野への社会からの信頼がコンクリート技士の日ごろの業務に依存していることがあります。

試験の結果、参加者全体での平均点は 18.9 点(30 点満点)、標準偏差は 2.85 でした。また、出題された問題群を、(1)材料・物性(研修時のテスト問題 1~10)、(2)配合・製造・耐久性(テスト問題 11~20)、(3)施工・構造・製品(テスト問題 21~30)の 3 分野に分類すると、各分野の平均点(10 点満点)は、それぞれ 6.2 点、6.5 点、6.1 点でした。職種により得手不得手はあると考えられますが、技士研修に参加された方々には、各分野の得点(正解数)を下のチャートにプロットし、ご自身の現在のレベルを把握して頂き、更なる知識の習得を目指すための参考にして頂ければ幸いです。



2015 年度 取得点数別受講者数



年度別点数一覧

年度	問題種類	平均点/45 (得点率)	標準偏差	材料・物性	配合・製造 ・耐久性	施工・構造 ・製品
H. 22	4	30 (67%)	4.0	10.5	9.7	10.0
H. 23	1	31 (69%)	4.1	10.7	10.0	10.0
H. 24	1	27 (60%)	3.9	8.3	10.1	8.7
H. 25 2013	1	27 (60%)	4.0	9.8	8.9	8.9

年度	問題種類	平均点/30 (得点率)	標準偏差	材料・物性	配合・製造 ・耐久性	施工・構造 ・製品
2014	1	19 (63%)	3.0	6.7	6.4	6.7
2015	1	19 (63%)	2.9	6.2	6.5	6.1